

令和6年度

入善町立入善小学校

令和7年2月28日



学校だより



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

心を育てるには

校長 内山 真之

子供たちの体は、日々、成長しています。心も同じように育っていくかと思うと、そう簡単ではないようです。心は、「感情」も「思考理解」も含む、非常に複雑なものです。

先日、1年生の女の子が「校長先生、なんで教室の中でリップクリームぬったらだめなの？」と聞いてきました。「マナーだから」と答えてみました。女の子は、目を大きく開いて、「ああ」とつぶやいて納得しました。

3年生の声が聞こえます。先生が、「廊下で鬼ごっこしないよ」と話すと、「なんで？」と聞き返します。先生は「ルールだから」と答えました。でも、廊下での鬼ごっこはやめることはできませんでした。



心は意図的に磨いていこう、高めていこうとしない限り、自然には育ってはいきません。

各学級では、「心を育む」ための「価値の種まき」をしています。全校的には、素敵な言動がとても増えてきています。しかし、高学年でも授業中にタブレットでゲームをしている子がいます。「タブレットは学習にしか使わないというルール」があり、しかも授業中となると、果たして、心は育っているのでしょうか。何種類かの生成 AI に聞いてみました。

「心は育つのでしょうか？ 心の成長とは何でしょうか？」

はい、心は育ちます。心は、体と同じように、経験や学びを通して成長し、変化していくものです。心の成長とは、以下（内山が加筆・修正）のようなものが挙げられます。

○感情の豊かさ

他者の感情に共感し、思いやりの気持ちを持つことができるようになること。

○思考力の発達

物事を深く考え、理解する力、問題を解決する力、創造力を養うこと。

倫理観や道徳観を身につけ、正しい判断ができるようになること。

○社会性の発達

社会のルールやマナーを理解し、自分自身の感情をコントロールし、守ることができるようになること。他者と適切なコミュニケーションをとれるようになること。

○自己肯定感の向上

自分自身の価値を認め、自信を持つことができるようになること。

困難な状況でも、諦めずに立ち向かうことができるようになること。

生徒指導主事の太田先生が、「道徳」の授業をした時の話です。「こそこそ話は、なぜだめなの？」と問いかけても、子供たちは意外にわからないそうです。でも、授業の中で、子供たちと話し合っていくと、気付いていくのです。「どうして、いじめはだめなの？」「どうしてルールはあると思う？」大人が、「小さな哲学」を問いかけ、子供と価値観について話し合っていくことで、子供たちの心はしっかりと育っていくように感じています。

1月23日～24日 5年生冬の宿泊学習



「冬の宿泊学習」に、5年生が1泊2日で行ってきました。1日目は、アルペンスキー。インストラクターのご指導で、みんな明らかに上達しました。

2日目は、立山青少年自然の家のフィールドでの冬の体験活動です。クロスカントリースキーは、細く、軽く、板の裏にウロコがあるので、登り坂を歩いたり、滑りながら登ったりすることができます。しかし、とても転びやすいのです。そして、チューブそりでは、子供たちの歓声(絶叫)が林間にこだましました。

2月10日 6年生 ふるさと学習



入善町教育委員会主催の「ふるさと教育推進事業」で、6年生は、(株)ウーケの工場、海洋深層水活用施設、サクラマスの養殖施設を見学しました。「海洋深層水」と「ウーケ」、「牡蠣ノ星」そして、「サーモンの陸上養殖」のつながりを知ると同時に、「海洋深層水」の大きな価値に驚いたことでしょう。豊富な地下水と海洋深層水に恵まれたふるさと「入善町」への理解と誇りが深まったことでしょう。今年度最後の「ふるさと学習」でした。

2月14日 入善高校生の授業 5年生

入善高校生が栽培された「富富富」を、本校の給食に提供していただきました。「J A全農とやま」様の企画で、入高生が5年生に「富富富の特徴や栽培方法」についての説明をしてくれました。積極的な質問もあって、とても学び深い時間となりました。本校は、年間を通して、入善高校農業科の皆さんといろんな活動をしています。



2月17日 4年生 箏鑑賞・体験会

4年生を対象に音楽科の授業として、「箏(こと)鑑賞、琴体験」を実施しました。講師には、美桐(よしきり)会の寺林 雅楽寛先生と5名の皆さんにご来校いただきました。演奏を聴き、実際に琴を一人ずつ体験させてもらいました。

実際に演奏できたことは、本当にいい体験学習でした。子供たちからも「とてもきれいな音。習ってみたい」という感想が聞かれました。美桐会の皆様、ありがとうございました。

